

# 津市の救急

## 救命率向上への取り組み



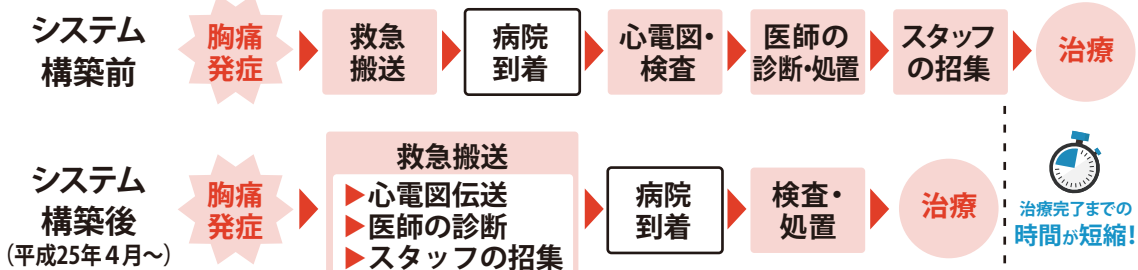
### 全ての救急車に12誘導心電図伝送装置を搭載 ～治療完了までの時間短縮を実現～

12誘導心電図伝送装置は、心臓を立体的に12の方向から見て、より正確な心電図波形を救急現場から医療機関に送信することができます。津市では、心疾患に対応するため、平成19年から救急車への搭載を開始し、現在13台全てに搭載されています。

また、平成25年4月から3病院による循環器輪番システムを開始し、受け入れ体制を強化しました。



12誘導心電図



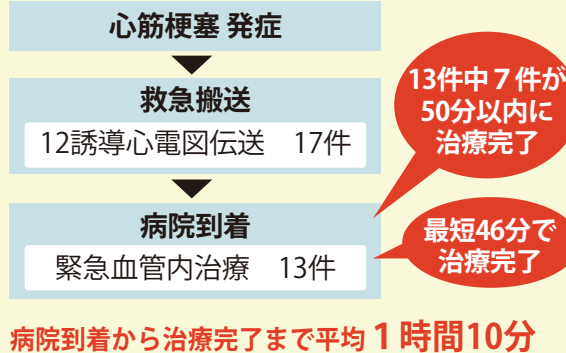
#### 心電図伝送件数

平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
36件	192件	375件	365件

急性冠症候群(急性心筋梗塞)の病院到着から治療完了までの平均時間

システム構築前	
平成24年	1時間34分
システム構築後	
平成25年	56分
平成27年	1時間10分

#### 循環器輪番 A 病院の場合(平成27年)



### 腹部輪番による救急体制を強化

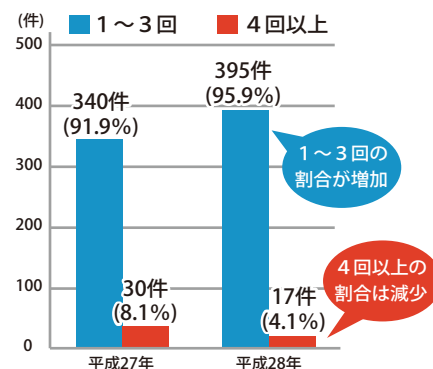
#### ～「動き出さない救急車問題」の解決に向けて～

平成28年4月から、腹部輪番病院バックアップ体制が構築されました。これは、救急搬送を受け入れた二次救急輪番病院が緊急手術に対応できないとき、緊急開腹手術が可能な他の医療機関がバックアップする仕組みです。

病院への受け入れ照会回数を昨年と比較すると、3回までの照会で受け入れが決定したものの割合が、4ポイント改善されました。

「動き出さない救急車問題」の解決に向けて着実に前進しています。

#### 消化器系病院照会件数(4月～8月)



救急救命士 岡 珠理